

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和03年12月16日

計画の名称	小田原旧城下町・板橋地区における街なみ環境の向上												
計画の期間	令和04年度～令和08年度(5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	小田原市												
計画の目標	歴史的な街なみとそれを結ぶルートを整備するなど、歴史文化やなりわいが感じられ、ホスピタリティあふれる街なみを形成し、地区を安心して訪れ、集い、憩い、交流する人々の姿が生き活きと映える、賑わいあるまちを目指す。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	580	A	476	B	0	C	104	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	17.93	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R4当初		R8末
1	観光、まち歩き等の交流拠点である小田原文学館、小田原宿なりわい交流館、旧松本剛吉別邸、皆春荘の利用者数を48,886人/年(H28～R2平均値)から51,330人/年(R8)に増加 小田原文学館、小田原宿なりわい交流館、旧松本剛吉別邸、皆春荘の利用者数の合計値	48886人/年	人/年	51330人/年
2	小田原市主要商店街の交流人口を108,599人(R4)から129,280人(R8)に増加 毎年12月に実施する小田原駅周辺の主要商店街(約30か所)の調査地点における流動客数	108599人	人	129280人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R04	R05	R06	R07	R08			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	小田原市	直接	市	-	-	小田原旧城下町・板橋地区 街なみ環境整備事業	整備方針策定、歴史的風致形成建造物整備、案内板等整備	小田原市						437	2.11	-
	A16-002	住宅	一般	小田原市	間接	民間	-	-	小田原旧城下町・板橋地区 街なみ環境整備事業	歴史的風致形成建造物整備助成、建築物等修景整備助成	小田原市						39	2.11	-
											小計						476		
											合計						476		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R04	R05	R06	R07	R08			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
住環境整備事業	C16-001	住宅	一般	小田原市	直接	市	-	-	回遊性向上推進事業	散策マップ等の作成及び配布	小田原市						1	-	
		散策マップ等による情報発信、回遊ルートの設定により、事業地区内に存在する歴史的資源を市民や来訪者に発信し、回遊性の向上を図る。																	
	C16-002	住宅	一般	小田原市	直接	市	-	-	小田原宿なりわい交流館 整備活用事業	リニューアル周知、誘客宣伝 、和文化体験、地域振興事業 、回遊促進事業に係る業務委 託等	小田原市						24	-	
		施設整備（ハード）と一体的に、施設の活用（ソフト）を行うことにより、施設全体の魅力やストック効果を高める。																	
	C16-003	住宅	一般	小田原市	直接	市	-	-	皆春荘整備活用事業	レストスペース、和文化体験 、飲食催事等の活用、維持管 理に係る業務委託	小田原市						39	-	
		施設整備（ハード）と一体的に、施設の活用（ソフト）を行うことにより、施設全体の魅力やストック効果を高める。																	
	C16-004	住宅	一般	小田原市	直接	市	-	-	旧松本剛吉別邸整備活用 事業	観光案内、和文化体験、飲食 催事等の活用、維持管理に係 る業務委託	小田原市						39	-	
		施設整備（ハード）と一体的に、施設の活用（ソフト）を行うことにより、施設全体の魅力やストック効果を高める。																	
	C16-005	住宅	一般	小田原市	直接	市	-	-	歴史的風致形成建造物整 備活用事業	歴史まちづくりカードの作成 及び配布	小田原市						1	-	
		歴史まちづくりカードによる情報発信により、事業地区内に存在する歴史的資源を市民や来訪者に発信し、回遊性の向上を図る。																	
											小計						104		

C 効果促進事業

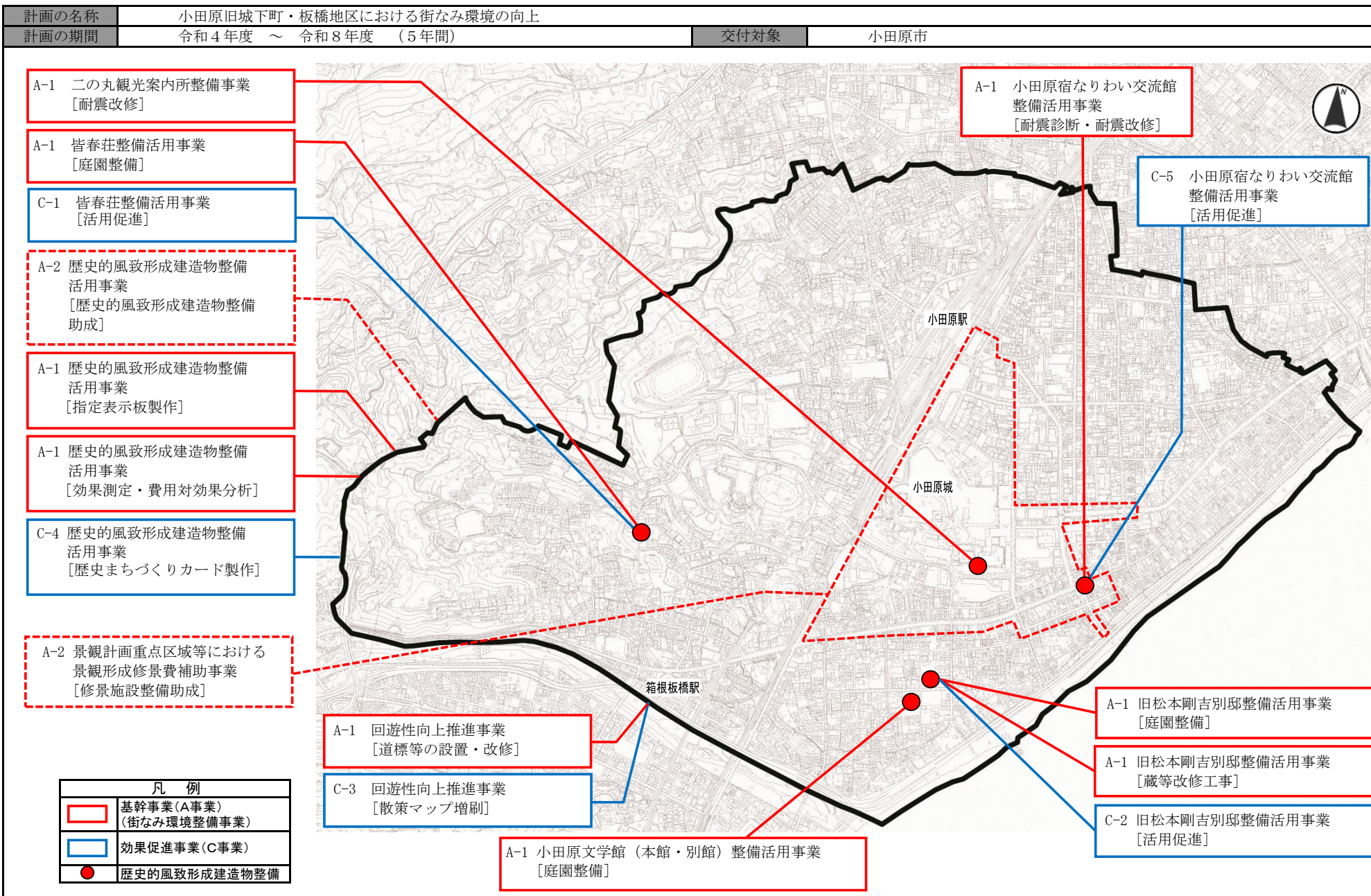
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R04	R05	R06	R07	R08				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
											合計						104			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R04	R05			
配分額 (a)	23	38			
計画別流用増 減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	23	38			
前年度からの繰越額 (d)	0	0			
支払済額 (e)	23	19			
翌年度繰越額 (f)	0	19			
うち未契約繰越額(g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

参考図面（社会資本整備総合交付金）



事前評価チェックシート

計画の名称： 小田原旧城下町・板橋地区における街なみ環境の向上

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 1) 小田原市総合計画、都市計画マスタープラン等に適合している。	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 2) 歴史的風致維持向上計画との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 3) 歴史的風致維持向上計画の重点区域の一部もしくは全部を含む区域である。	○
I. 目標の妥当性 地域課題への対応 1) 地域の課題や特性を踏まえた目標設定となっている。	○
I. 目標の妥当性 地域課題への対応 2) 目標は、達成の必要性が高いものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 関連事業を効果的に組み合わせている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 3) 効率的な事業推進が図られる事業構成となっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画について住民等との合意形成ができている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 3) 事業推進に向けた地域の機運が醸成されている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 4) 継続的な事業展開が見込める。	○